

安全データシート

改訂日:2023年9月13日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称
推奨用途
会社名
住所
電話番号

モリブデン酸
試験研究用
米山薬品工業株式会社
大阪府中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
GE0030

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類
健康に対する有害性

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分3(気道刺激性)

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報
注意書き

警告
呼吸器への刺激の恐れ
【安全対策】
粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレートの吸入を避けること。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
必要に応じて個人用保護具を使用すること。
【応急処置】
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは、医師に相談すること。
【保管】
容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別
化学名
別名
化学式
化学物質を特定できる一般的な番号
成分及び含有量
官報公示整理番号(化審法/安衛法)
その他

化学物質
モリブデン酸
-
 H_2MoO_4
CAS RN: 7782-91-4
86%以上(MO_3 として)
(1)-388 / 公表
HSコード: 2825.70

4. 応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合
眼に入った場合

飲み込んだ場合
応急処置をする者の保護

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
症状が続く場合には、医師に連絡すること。
大量の水と石鹼で洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
水で15~20分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診断を受けること。
水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。
救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤
使ってはならない消火剤
特有の危険有害性

特有の消火方法

不燃性である。周辺火災に適した消火剤を使用する。
特になし。
加熱されると分解して、刺激性及び有害なガスを発生するおそれがある。
消火活動は風上から行う。
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
不可能な場合は周辺に水をかけ冷却する。
適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

消火を行う者の保護

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項	作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	密閉された場所に立入る前に換気する。
	河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
	飛散した物を掃き集めるか、真空掃除機で吸引する等できるだけ飛散発 じんしないようにして、空容器等に回収する。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気、全体換気等)	全体換気装置、局所排気装置を設置する。
	洗眼器と安全シャワーを設置する
安全取扱い注意事項	吸い込んだり、眼、皮膚および衣類に触れないように適切な保護具を着 用する。
	漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに粉塵を発生させない。
	容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱 いをしない。
接触回避	熱、強酸化剤、強塩基
衛生対策	取扱い後はよく手を洗い、うがいをする。。
	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。
保管	
安全な保管条件	直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。
安全な容器包装材料	ポリエチレン
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
管理濃度	未設定
日本産衛学会	未設定
ACGIH	TWA 0.5mg/m ³ (as Mo) (Respirable particulate matter)
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には、適切な洗眼器と安全シャワーを 設置すること。
	ばく露を防止するため、作業場には適切な全体換気装置、局所排気装 置を設置すること。
保護具	
呼吸用保護具	防塵マスク又は簡易防塵マスクを着用する。
手の保護具	ゴム手袋を着用する。
眼の保護具	保護眼鏡やゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	保護衣、保護エプロン等を着用する。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	粉末
色	白色もしくは淡青色、淡黄色
臭い	無臭
融点/凝固点	該当情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	該当情報なし
燃焼性	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	不燃性
引火点	不燃性
自然発火温度	不燃性
分解温度	該当情報なし
pH	該当情報なし
動粘性率(粘度)	該当情報なし
溶解度	水;1.3g/L (18℃)
n-オクタノール/水分配係数	該当情報なし
蒸気圧	該当情報なし
密度及び/又は相対密度	3.1
相対ガス密度	該当情報なし
蒸発速度	該当情報なし
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	通常の取り扱いに於て安定。
危険有害反応可能性	該当情報なし
避けるべき条件	日光、熱
混触危険物質	強酸化剤、強塩基
危険有害な分解生成物	モリブデン酸化物
11. 有害性情報	
急性毒性	該当情報なし。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	該当情報なし。
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性	該当情報なし。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	該当情報なし。
生殖細胞変異原性	該当情報なし。

発がん性		データ不足のため分類できない。実験動物では可溶性モリブデン化合物に属する三酸化モリブデンをラット又はマウスに2年間吸入ばく露した発がん性試験において、雄ラットに肺胞/細気管支の腺腫とがんの合計の発生頻度の増加傾向、雄マウスに肺胞/細気管支がん及び肺胞/細気管支の腺腫とがんの合計の発生頻度の増加、雌マウスに肺胞/細気管支腺腫及び肺胞/細気管支の腺腫とがんの合計の発生頻度の増加が認められたことから、NTPは発がん性の証拠の重みづけに関して、雄ラットは不確実な証拠、雌雄マウスはある程度の証拠があると結論した（NTP TR 462（1997））。三酸化モリブデンに関するNTP試験結果について、ACGIH（7th, 2003）、PATTY（6th, 2012）にも記述があるが、金属モリブデン又は不溶性モリブデン化合物を用いた試験報告はない。国際機関による発がん性分類結果としては、ACGIHが可溶性モリブデン化合物に対し「A3」に分類している（ACGIH（7th, 2003））だけで、金属モリブデン、不溶性モリブデン化合物はいずれの機関によっても分類されていない。以上より、本物質はデータ不足のため分類できない。
生殖毒性		該当情報なし。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）		高濃度粉じんは上部気道を刺激することがあるとの記述から、区分3（気道刺激性）とした。（化学物質評価研究機構, モリブデン）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）		該当情報なし。
誤えん有害性		該当情報なし。
12. 環境影響情報		
生態毒性	短期: （急性）	該当情報なし。
	長期: （慢性）	該当情報なし。
残留性・分解性		該当情報なし。
生体蓄積性		該当情報なし。
土壤中の移動性		該当情報なし。
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。（GHS分類:分類できない）
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装		容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意		
国連番号		—
品名（国連輸送名）		—
国連分類		—
容器等級		—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策		運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報		
陸上輸送		消防法の規定に従う。
海上輸送		船舶安全法の規定に従う。
航空輸送		航空法の規定に従う。
応急措置指針番号		—
15. 適用法令		
化学物質管理促進法（PRTR法）		第1種指定化学物質〔モリブデン及びその化合物〕
毒物及び劇物取締法		毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法		名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物（第57条及び施行令18条、第57条の2及び施行令18条の2）〔モリブデン及びその化合物〕 危険性又は有害性を調査すべき物〔モリブデン及びその化合物〕 危険物に該当しない。
消防法		指定物質〔モリブデン及びその化合物〕
水質汚濁防止法		有害大気汚染物質〔モリブデン及びその化合物〕
大気汚染防止法		
16. その他の情報		
参考文献		NITE-CHIRP（製品評価技術基盤機構HP） Merck Index 14th 産業中毒便覧（医歯薬出版） The Sigma-Aldrich Library of REGULATORY and Safety Data The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data Edition II 化学大辞典（共立出版） 公害と毒・危険物 無機編（三共出版） 新版 無機化学（産業図書） 化学物質研究評価機構（化学物質安全性評価シート） 化学物質の環境リスク初期評価

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。